評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3890100153
法人名	日本ケアシステム株式会社
事業所名	グループホームよろこび
所在地	松山市堀江甲2082-1
自己評価作成日	平成21年7月21日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

海と山が近く、豊かな自然に恵まれた場所にあるホームです。ゆったりとした暮らしの中でよろこびを感じ、自然と笑顔がこぼれる生活を大切にしたいと思っています。

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

事業所は、町内会に加入されている。地域の花火大会や秋祭りには、見物されている。又、近隣のコンビニでは、店の方が買い物に来る利用者のために椅子を用意してくださっている。ボランティアの高校生がお話し相手に来られており、利用者は楽しみにされている。「まもる君の家」の設置に協力されている。
職員は、ご家族の来訪時、ご本人の良いところや楽しかった出来事等を伝え、ご家族と利用者がよい関係を続けることができるよう支援されている。ドライブの際、かつてご本人が住んでおられた場所を廻ることもある。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年8月4日

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印		項目		取り組みの成果 該当する項目に印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の		63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と	
		2. 利用者の2/3くらい				2. 家族の2/3くらい	
		3. 利用者の1/3くらい				3. 家族の1/3くらい	
		4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない	
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある		64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)	1. ほぼ毎日のように	
		2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度	
		3. たまにある				3. たまに	
		4. ほとんどない				4. ほとんどない	
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が		65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)	1. 大いに増えている	
		2. 利用者の2/3くらい				2. 少しずつ増えている	
		3. 利用者の1/3くらい				3. あまり増えていない	
		4. ほとんどいない				4. 全くいない	
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が		66	職員は、生き活きと働いている (参考項目：11,12)	1. ほぼ全ての職員が	
		2. 利用者の2/3くらい				2. 職員の2/3くらい	
		3. 利用者の1/3くらい				3. 職員の1/3くらい	
		4. ほとんどいない				4. ほとんどいない	
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が		67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が	
		2. 利用者の2/3くらい				2. 利用者の2/3くらい	
		3. 利用者の1/3くらい				3. 利用者の1/3くらい	
		4. ほとんどいない				4. ほとんどいない	
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が		68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が	
		2. 利用者の2/3くらい				2. 家族等の2/3くらい	
		3. 利用者の1/3くらい				3. 家族等の1/3くらい	
		4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が					
		2. 利用者の2/3くらい					
		3. 利用者の1/3くらい					
		4. ほとんどいない					

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名

グループホーム

(ユニット名)

よろこび

記入者(管理者)

氏名

井上 一美

評価完了日

H21年 7月 21日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 管理者と職員はグループホームの意義を理解し、共有できる理念をつくりあげ実践に向け日々取り組んでいる。	
			(外部評価) 職員全員で話し合い、<笑顔>という新しい理念を作られた。職員がいつも笑顔を心がけることで利用者との会話が増え、ご家族からも「雰囲気よくなった」と感想をいただいた。「笑顔」と事務室や共有空間に掲示されていた。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 散歩の途中で近隣の方々に挨拶をして頂いたり、ボランティアの方が利用者様の話し相手に来て頂いたりしている。また、地域の行事(祭り)などにも出来るだけ参加をしている。	
			(外部評価) 事業所は、町内会に加入されている。地域の花火大会や秋祭りには、見物されている。又、近隣のコンビニでは、店の方が買い物に来る利用者のために椅子を用意してくださっている。ボランティアの高校生がお話し相手に来られており、利用者は楽しみにされている。「まもる君の家」の設置に協力されている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 法人全体として行事を行う事により、地域の人やボランティアの人にも参加していただき利用者の方と交流をして貰う事で理解をして頂いている。今後、グループホーム独自でも行事を予定し、近隣の方々との交流の機会を増やして行きたい。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>定期的に運営推進会議を開催し、ご家族や地域の人で参加して頂いた方から出された意見はミーティングで報告をし、サービスの向上や改善につなげている。今後は 職員にも会議への参加を予定している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>会議出席者の希望もあり、午後 6 時半から会議を開催されており、ご家族や民生委員、町内会長の方等が出席されている。しかし、4 月以降、事業所の都合により会議の開催が遅れている。</p>	<p>今後、定期的な運営推進会議の開催に向けて取り組まれてほしい。又、いろいろな立場の方のご意見をうかがい、貴事業所のケアサービスの質向上につなげていられることが期待される。</p>
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>市に出向いたり電話にて随時相談をしている。運営推進会議などにも参加してもらっている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議には、市の担当者に出席いただき、事業所、ご家族、地域の方に介護保険のことやご家族等との関係作りへのアドバイス等をいただいた。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>身体拘束をしないケアを出来るだけ実践しているが、事情により拘束が必要な場合には、ご家族と相談のうえ同意書を頂いている。玄関は安全の為、夜間のみ施錠している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>日中、玄関は施錠されていない。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 管理者、職員は全員高齢者虐待防止関連法について学んでいる。また、虐待が見過ごされる事がないよう注意を払い防止に努めている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 管理者は制度について研修等で学んでいる。職員においては、今後研修等など学ぶ機会を設けて行きたい。制度が必要な人においては、必要に応じて資料等で説明している。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 利用者本人とご家族に事前に会い、十分な説明と話し合いを行い理解・納得をして頂けるよう努めている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族会を開催し意見や要望を聞き、運営に反映させている。また、玄関先に意見箱を設置し意見や苦情を表出しやすいようにしている。 (外部評価) 6月に第一回の家族会を開かれ、ご家族から「本人のできることをどんどんやらせてほしい」とご意見があり、ひげ剃りや玄関の掃除等、支援に工夫されたり、又、「楽しみを感じる行事を増やしてほしい」との要望があり、8月に「お楽しみ会」を9月には芋炊き会を、ご家族も招待して開く予定となっていた。	管理者は、家族会でのご意見をきっかけに、ケア等の改善に努めていきたいと話されていた。又、ご家族とのかかわりの中から信頼関係をさらに深めていきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			月1回(第3火)ミーティングを開き全員で意見や提案を出し合っている。出された意見や提案は代表者に報告し事業所の運営に反映されている。	
			(外部評価)	
			職員それぞれの得意なことを活かして、レクレーション・行事、環境美化、お便り等、担当を決め、主体的に取り組めるような仕組みを作っておられる。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			「自己評価表」を記入し、代表者は個々の勤務状況を把握するよう努めている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			研修に関する情報を公開し、法人内外の研修に全員が参加できる体制を整えている。研修内容についてはミーティング時に報告してもらい職員全員に周知している。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			愛媛県グループホーム連絡協議会に入会しており相互研修にも参加するなどし、サービスの向上に努めている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			ご家族からの相談であっても出来るだけご本人と面談をし、意向を聞き取りながら安心してサービスに移行できるよう努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 相談があるとご家族に見学に来てもらい、GHの生活を見ていただくとともに、困っている事や不安、求めている事などを聞き取り、サービス利用に対する不安を緩和するようつとめている。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人、ご家族からの相談の内容やまず必要としているサービスを見極め、職員・医療・その他の福祉サービスと相談、連携を図りながらサービスの対応に努めている。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 利用者と職員が、「助けられたり助けたり」と互いにやさしく手を差し伸べることが出来るような関係が少しずつ築けてきている。	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会に来られた時や、毎月のお便り等にて近況を報告したり家族会や行事の参加を呼びかけ、少しでもご家族と過ごせる時間が持てるよう努力をしている。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 馴染みの人が時折面会に来ていただける方もおられるが、馴染みの場所の関係は途切れている。ご家族に負担にならない程度協力を頂きながら場所との関係も維持できるよう努めていきたい。 (外部評価) 職員は、ご家族の来訪時、ご本人の良いところや楽しかった出来事等を伝え、ご家族と利用者がよい関係を続けることができるよう支援されている。ドライブの際、かつてご本人が住んでおられた場所を廻ることもある。	管理者は、ご本人の希望等も聞きながら、お墓参り等、個別の支援に取り組んでいきたいと考えておられた。今後もさらに、ご本人の大切な人や場所等を探り、関係が続けられるような支援にも取り組んでいかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 職員が利用者同士の関係を把握し、馴染みの関係作りが出来るよう見守り支援に努めている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 契約終了後も相談等があれば 相談・支援をし関係が継続できるようつとめていく。	
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 利用者一人ひとりの思いや意向、声を職員全員で把握するよう努めている。また、言語の聞き取りの困難な人の思いも聞き流すのではなく本人の意思を時間をかけきちんと聞き取り把握するよう努めている。	
			(外部評価) ご本人やご家族から情報を集め、全職員で新たに利用者個々のアセスメントシートを作成された。訪問調査時、併設デイサービスで行われる音楽会への希望を個々に聞き、1名の利用者が参加されていた。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居される前に、ご家族や本人から生活の歴史を聞き取りしたり、サービスの利用などについては本人・ご家族より同意を得た上で、医療・福祉サービス関係より情報提供をして頂いている。また、入居されてからも日常の会話の中から馴染みの暮らしを把握するよう努めている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 日々の暮らしの中で さまざまな方向から本人の出来る力を見出し、本人の有する力を発見したときは職員全員に情報として提供している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>職員全員で介護計画を見直し、変化があった場合などは出来るだけ即時に対応が出来るよう努力している。また、ご家族や本人にも要望や意見を聞き、介護計画に反映するよう努めて行きたい。</p> <p>(外部評価)</p> <p>介護計画は、1ヶ月毎にモニタリングや評価をされ、3ヶ月毎に見直すようになっている。</p>	<p>今後、事業所では、アセスメント表からご本人の思いや暮らし方の希望を探り、「ご本人の言葉」をもとにした介護計画を作成したいと考えておられた。又、ご家族等の要望等も具体的に聞き取り、話し合われてほしい。</p>
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個別の記録で職員全員が日々の様子を把握している。気づきなど、毎日の申し送りなどでも報告している。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>その時々ニーズに、法人全体で柔軟な対応が出来るよう努めている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居者の方が安心して生活が出来るよう、民生委員さんや近隣の方々の協力が得られる体制作りを努めている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	<p>(自己評価) ご本人・ご家族の希望をお聞きしながら対応してい る。また、ご家族に協力していただける利用者の方は 馴染みの病院へ継続して受診していただいている。ご家 族での受診が出来ない場合は訪問診察を利用されたり 職員が病院受診に同行し、適切な医療が受けれるよう 支援している。</p> <p>(外部評価) 病院受診は、ご家族に付き添っていただけるよう、事 業所便り等を通じてお願いされている。2週間に1回、 協力医の往診がある。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	<p>(自己評価) 提携医療機関より 定期的に(週1)訪問診察にきて いただく事により、主治医や看護職と連携が取れる体 制になっている。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価) 入院時には職員が面会に行き、ご本人の状態を確認し ながら病院関係・ご本人・ご家族と退院計画を話し合 いながら早期退院への支援に努めている。職員間でも 退院後のケアについての話し合い・計画を立て、退院 後も安心して生活出来る体制づくりに努めて。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 終末期においては 医療機関や御家族と話し合いや協 力をさせていただきながら、本人の望む生活を支援して いけるよう努める。また、本人や御家族の意見も聞き 入れながら 指針や整備の見直しもしていきたい。</p> <p>(外部評価) ご家族の中には、「事業所で最期を迎えたい」と望ん でおられる方もある。ご家族から重度化や看取りにつ いての質問や要望もあり、事業所では、重度化や終末 期に向けた指針の整備や体制作りを検討されていると ころである。</p>	<p>看取り支援について「事業所でできること」を検討さ れている。ご本人やご家族のさらなる安心に向けて、 医療関係者やご家族等とも話し合いを重ね、体制作り をすすめていかれてほしい。</p>

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 普通救命講習を終了している職員もいるが全員ではない為、今後は全員が急変時や事故発生時に適切な行動が取れるよう講習や訓練を受ける予定。また、緊急時のマニュアルも作成し、定期的に訓練も行っていきたい。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 法人全体として、年2回消防・避難訓練などを行っている。避難方法を定期的に確認し、実践に取り組んで行くよう努めていきたいと考えている。	
			(外部評価) 年2回、併設施設と合同で避難訓練を実施されている。夜間想定避難訓練や地域との協力体制作りは、今後の取り組みとされていた。	全職員が避難訓練に取り組めるような機会作りや地域の協力体制作り、又、いろいろな場面を想定した訓練等、事業所独自でも安全と安心に向けた取り組みが期待される。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 職員の意思を押し付けるのではなく、利用者一人ひとりの意思を尊重し、個々に合わせた言葉かけを心がけている。	
			(外部評価) 職員は、利用者個々の性格や好みに合わせ、和やかにさりげなく対応されたり、明るく元気よく対応されていた。又、利用者の居室に職員が入る際には、ご本人に声かけをしてから入室されている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 日常生活の中での信頼関係を築きながら、一人ひとりが自己決定できるよう努めている。言葉でうまく表現できない利用者の方には、手や首を振って体で表現して頂いたり表情などで本人の意思を確認するよう努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)	
			無理に物事を進めないように、一人ひとりの生活リズムに配慮して支援している。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価)	
			日々の着替えは出来るだけ本人に選んでいただいている。外出するときは、職員と楽しみながら外出着を選ばれている方もおられる。理美容についても、ご家族に馴染みの理美容につれて行っていただいたり出張理美容などを利用して頂いたり おしゃれが出来るよう支援している。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価)	
			職員は利用者と同じテーブルで食事をしながら、一人ひとりにあわせて介助をしている。	
			(外部評価)	
			食事の下ごしらえ等、利用者のできることは職員と一緒にされている。食事の途中、職員は、介助の必要な方の姿勢等にも気を配っておられた。暑がりの方には食事中に扇風機をかけたり、ゆっくり食べる方・早く食べる方等、職員は、周りの方達へも配慮しながら声をかけておられた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価)	
			一人ひとり毎食の食事や一日を通じての水分量などを記録し、栄養や水分量が不足していないか確認するようにしている。水分量が少ない場合には本人の好みの飲み物などを飲んでいただくなどしている。また、栄養については栄養士に随時チェックしていただいている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価)	
			毎食後、声かけや見守りや介助をしながら口腔ケアを行っている。義歯の方は職員が介助にて手入れを行うことが多い。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 一人ひとりの排泄パターンをチェックし、習慣を把握しながら随時トイレへの声かけ誘導することで、排泄の失敗をなくすよう支援を行っている。	
			(外部評価) 排泄パターンを踏まえて、声かけや誘導を継続して、紙おむつを利用されていた方が布の下着を利用するまでに至ったという事例がある。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 食物繊維を多く取り入れた食事の工夫をしながら、自然排便を促す為一人ひとりに合わせた運動を働きかけている。	
			(外部評価)	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 曜日や時間に関係なく入浴が出来るように支援している。出来るだけ本人の希望に合わせての入浴にしているが数日拒否される場合においては、本人のタイミングを見計らいながら職員が決定する場合もある。	
			(外部評価) 週2回、入浴日を決めてあるが、希望があれば入浴できるようになっている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 利用者一人ひとりの生活リズムの把握に努め、安眠や休息が出来るよう支援している。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価)	
			一人ひとり個別に服薬ファイルや医療記録をしている。薬は職員が管理し、飲み忘れや誤薬がないように支援している。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価)	
			本人の出来ること、得意な事を日常生活の中から見出し、誰かの役に立っているという張り合いを持った生活が出来るよう支援している。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価)	
			本人のその日の気分に合わせ散歩にでかけたり、近所のスーパーへ買い物へ行くなど本人の希望にそって外出できるよう支援している。ご家族も外食など外出支援の協力をしていただいている。	
			(外部評価)	
			敷地内の散歩や近くの海にも散歩に出かけておられる。併設デイサービスの木工教室に参加される方もいる。最近、全員で外食に出かけられた。	さらに、時には、利用者個々の行きたいところや、懐かしい場所を訪ねるような取り組みもすすめて見てはどうだろうか。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)	
			ご家族かお金を預かり事業所で管理している場合でも本人の希望や力に応じてお金が使えるよう支援している。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)	
			ご本人の希望に応じて支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
				出来るだけ自然の光や風を取り入れるようにし、その時期にあった飾りや花で季節を感じてもらっている。
			(外部評価)	
			玄関前には、季節の花が植えられ、ベンチが設置されている。居間には、利用者と職員とで作った七夕飾りや、外食やお買い物の際の写真、大きなひまわりと麦わら帽子の壁面飾りが飾られていた。畳コーナーで横になり、一休みされている方もあった。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価)	
				ソファや畳コーナーなど少人数で過ごせる居場所作りをしている。
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
				ご本人・ご家族と相談しながら使い慣れた物や好みのもを置いていただいたり自分らしさを感じられる部屋にされている。
			(外部評価)	
			ご家族からのプレゼントや、併設デイサービスで作った木工の作品を飾っておられる方もあった。ご本人の希望で畳にされている方もいる。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)	
				トイレや居室などの場所が分かり易いように印を付けたり一人ひとりの目線や立場に合わせた環境作りをしている。